

平成 28 年度第 1 回御殿場市地域公共交通協議会議事概要

平成 28 年 8 月 30 日開催 15 時 30 分～16 時 30 分

林業会館 第 1 研修室

※委員 17 名出席（全 18 名）

1 開会 （全体進行：御殿場市企画課長）

2 市長挨拶

御殿場市地域公共交通網形成計画について 4 月に策定することができました。皆様のご協力に感謝いたします。

本日の協議会では、特に交通弱者、中でも真の交通弱者として自宅に車がない等の方を支援し、また障がいのある方にも重ねて支援することで、買い物や市内のイベントに出かけられる助けになるような制度を提案させていただきます。ぜひ皆様からの知恵を頂いて良い制度にできればと思います。

そうすることで交通空白地域を埋め、さらに個人的な交通空白も助けていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

3 委員紹介 （自己紹介）

4 協議事項

（1）役員の選出について……資料 1

仮議長として前会長の御殿場市企画部長が進行を行った。

（説明：事務局）

資料 1 第 5 条第 2 項により役員は互選により選出する旨説明を行った。

立候補者なしのため、事務局にて下記の役員案を提示した。（事務局）

会 長（市企画部長 志水 政満氏）

副会長（市区長会代表 印野区長 勝間田 正一氏）

監 事（市老人クラブ連合会会長 鈴木 繁氏）

異議なしとして、事務局案にて役員を選出した。

（以下、会長により進行）

（2）平成 27 年度事業報告・決算報告について……資料 2

（説明：事務局）

資料 2 に基づき、事業報告・決算報告・監査報告（代読）を行った。

いずれも異議なしとして原案どおり承認された。

（3）平成 28 年度事業計画（案）・収支予算（案）について……資料 3

（説明：事務局）

資料 3 に基づき、事業計画（案）・収支予算（案）について説明を行った。

いずれも異議なしとして原案どおり承認された。

(4) 公共交通空白地域対策について……資料4-1

(説明：事務局)

資料4-1により、事務局案として全市域で展開する「高齢者のための交通支援事業(案)」を提案した。

併せて4月から検討を重ねてきた高根地区のデマンド方式案についても説明し、この方式の対象を全市に拡大した場合の比較及び課題等について説明を行った。

(質疑等)

小泉委員：運用等の詳細は市で決定するのか。

事務局：協議会では方向性を検討していただき、細部は市で決定し、決定した内容について協議会にて報告する。

小泉委員：それで良いと思う。協議会で細部まで決定するとなると時間が掛かってしまう。

小泉委員：予算的にはどの程度を考えているのか。

事務局：まだはっきりお示しできないが、タクシー料金の1割程度を考えている。そうすると総額1,000万程度と考えているが、対象人数を精査してから決めたいと考えている。

小泉委員：タクシーでのデマンド方式の金額が大きいので、そんなにならなければと思った。

会長：金額は重要な事項である。乗合人数の想定によっても金額は変わってくる。デマンド方式では難しいということが分かってもらえればと考える。

会長：タクシー料金の1割とは初乗り料金の1割か。

事務局：障害者のタクシー助成や他市町の例を参考にして1割と考えており、行先についても市内には限定せず、利用しやすいように〇〇円券という形で料金に合わせて使えるようにしたいと考えている。

小泉委員：制度が複雑ではいけないと思うので良い方法だと思う。1年ごとに検証する機会は設けてほしい。

会長：この制度はバスでも利用できる。これを機会にバスに乗ってみようかという人も出てくるのではないかと期待している。お年寄りが外に出る機会を設けていきたいと考えている。少額だが助成をして利用を促していきたい。運用しながら徐々に拡大していった方が良いのか等を考えていきたい。

また、高根地区のデマンドについてもいかに費用を掛けずに、利用者にとって利用しやすい制度とするかを研究していきたい。

平野委員：対象を70歳以上とするのは良いが、65歳以上は免許返納者だけを支援するのか。

事務局：市としては今年度から免許返納を奨励する制度を開始している。これを促進したいという意味合いもある。また、奨励制度では一度だけの支援であるが、

これを拡充する意味合いもある。事務局案の制度では、まずは70歳以上とし、
検証しながら65歳以上とするなどしていきたい。

平野委員：助成は1回500円位になるのか。

事務局：年間1万円を超える程度を想定している。助成額についても皆さんの意見を伺いたい。

平野委員：デマンド方式の試算にある、タクシー借り上げ料が一日3.5万円というの
は高いのではないか。

高村委員：資料を持ち合わせていないのでわからないが、中型1台1時間あたり6,000
円程度か。6時間借り上げて3.5万程度かもしれない。

鈴木（成）委員：デマンド方式の多くは借り上げた実数による料金。フルに借りる
わけではない。実際にはもっと下がると思うが、これは最大値で
あると思う。

平野委員：免許返納者を65歳以上とした理由は何か。

事務局：今年度開始した免許返納の奨励制度の対象が65歳以上である。これは高齢
者の運転が危険であるという背景によるもの。実際には65歳以下の方もい
るかもしれないが、若い方は障害福祉や介護の制度によって救えると考え
ている。65歳以上は返納しても1回の支援のみなので、そういう人を救っ
ていきたいという理由である。

平野委員：免許を返納したからといって、年を取っても運転している人は多く、事
故が減るとは思えない。たまたま免許を持っていて返納した人と、ずっ
と持っていない人で差をつけるのか。

事務局：免許を持つ、持たない（返納する）は個人の選択の自由だと考えている。

平野委員：対象年齢の枠を広げてほしいという趣旨である。今後の議論の中で詰め
てもらえればと思う。また、「乗合2種」とあるが、タクシーとバスの免
許のことだと思うが、2種免許というのがあるわけではないので正しいも
のを書いた方がよい。

事務局：教えていただいて修正したい。

木佐森氏（林委員代理）：住民に納得してもらえる制度にしないといけないと思う。
また、空白地域対策であるとバス停の近くの人を対象にならないのでは
ないか。バス停近くの人がタクシーに乗るようになり、バスが減少・撤
退につながる場合があるのではないか。しっかり線引きしバスを維持す
るために役割分担が必要なのではないか。

事務局：バスについても利用しやすい制度にしたいと考えている。毎回タクシーを
利用しては費用も掛かるため、今まで誰かに頼んで乗せてもらって
いた人がバスに乗ってみようというようになるかもしれない。選択肢を広げ
るような制度にしたいと考えている。

木佐森氏（林委員代理）：最終的にこの制度をいつ決定するのか。

事務局：庁内合意後、10月の議会への説明で決定としたい。この場で意見を頂いて市で内容を詰めていきたい。12月に予定している協議会で報告できればと考えている。

木佐森氏（林委員代理）：網形成計画にある今年度の高根地区のデマンド交通の実証運行は行うのか。

事務局：4月から検討を重ねてきたが、まだ研究段階であるため、年度内には間に合わないと考えている。

（その他の質疑なし）

会長：バス路線の維持や利用者増を進める中で、行きたいところに行けない人もいる。その方たちを助成していくという案の提示である。今後、免許返納者の65～69歳を対象とした理由について明確な説明ができるようにしていきたいと考えている。

（質疑終了）

5 その他

・御殿場市地域公共交通網形成計画について

昨年度、協議会委員の皆様にご協力いただいて策定した計画の製本版が完成したので皆様に配付させていただいた。（事務局）

・広報ごてんば 9/5 号記事掲載について

9/20 のバスの日に合わせて掲載する記事原稿を配布した。今年度は、高齢者が利用できる、バスの定期券について紹介を加えている点を説明した。（事務局）

・パンフ「活発で良い議論ができる会議のために。」の配付について

静岡運輸支局様より提供いただいた、協議会での役割等をまとめたパンフを配付し、紹介を行った。（事務局）

6 閉会